

## 人を寄せる外構；立体花壇のデザイン・コンセプト

---

---

空間デザインの研究開発 『外構の研究』 2009年

概念デザイン研究所 山口泰幸 作品  
252-0802 神奈川県藤沢市高倉586 電話・ファックス 0466-43-4713  
メール [taizan@gainendesign.com](mailto:taizan@gainendesign.com) HP <http://www.gainendesign.com/>

概念デザインの対象は広範であり、プロダクトデザインを始め、情報デザインや空間デザインにもおよぶ。  
特に空間デザインは1996年以降常に関心のあるテーマであり、1997年の概念デザイン研究所湘南リゾートオフィスのデザインを皮切りに、各種コンセプトデザインも手がけてきている。  
湘南リゾートオフィスは当初より、将来における空間デザイン研究に資するように“仕込み”をしながらデザインした。  
空間デザイン研究の中で、「男子の居場所」と共に興味の対象であったのが「外構のあるべき姿」の探究である。

1997年に完成した湘南リゾートオフィスはそれなりに心血を注いでデザインしたものであったので、かなり満足はしていたのであるが、建築物に付随した外構を臨時のものとしていたため、外構はいまひとつ満足のいくものではなかった。



←1997年完成のリゾートオフィス

1997年当時の仮づくりの外構→



「湘南リゾートオフィス」と称するからには、それに相応しい外構が不可欠である。そこで、オフィス完成後5年の歳月を経て、納得のできる外構のデザインコンセプトの構築とデザインに挑戦した。

外構とは本来、“外”と“内”の狭間にあって、しかも「区分するものではなく」、むしろ「内なる思考を表明するもの」…と考えながら、外構の一部が通りを歩く人々のために何らかのメッセージを送りながらも、人々を愉しませるものにならないか、「内側に向けた花壇ではなく」、あえて全面的に「外側に向けた花壇であるべきなのでは」…と、基本コンセプトを設定し、一切妥協することなく、コンセプトをそのままデザイン展開していった。

その過程の中で、大きく学んだことは、デザインプロセスにはどうしても譲ってはいらない分水嶺が存在し、しかもそれは僅か1%程度の微妙なものであるということ、そしてコンセプトが的確にデザイン表現できた時には、驚くような効果が得られるということであった。この空間デザインが完成して以降、多くの道行く人が立ち止り、家族に話しかけ、生花を愉しんで行ってくれるという機会が、完成前に比べ何十倍にもなったのである。

2009年 概念デザイン研究所 山口泰幸  
[taizan@gainendesign.com](mailto:taizan@gainendesign.com)



## コンセプトとは何か

メリット、狙い、特徴などをひとことで言いあらわしたもの

☆ ユーザーのニーズに応える、ことばによる感性表現

## デザイン・コンセプトとは何か

デザイニングの立場から、上記コンセプトをデザイン展開できるように簡潔に言いあらわしたもの

## コンセプトデザインとは何か

新しい概念に基づくコンセプト創造しながら、

コンセプチュアル・イメージ&モデルを提案する、

設計図を伴うデザイニングの前段階のデザイン。

\* デザイン・コンセプト・メイキングプロセスの概要→コチラから！

\* 特別公開論文；『デザイン課程におけるコンセプト・メイキング方法論』→コチラから！

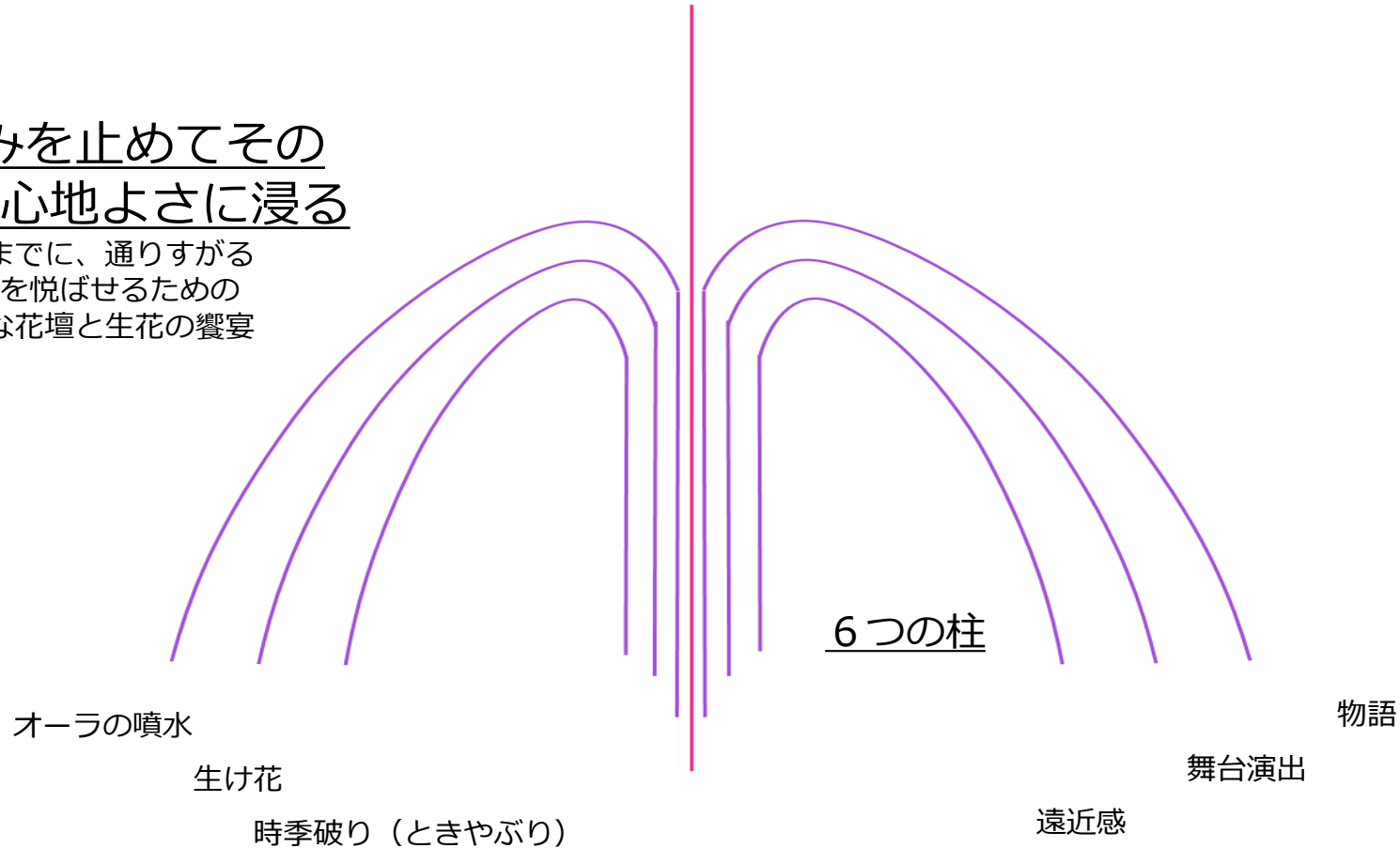
\* コンセプト・メイキング・セミナー企画→コチラから！



|          |                       |
|----------|-----------------------|
| テーマ      | 人を寄せる外構               |
| タイトル     | 立体花壇                  |
| ネーミング    | 饒華；Nigihana（ニギハナ）     |
| コア・コンセプト | ふと歩みを止めてそのオーラの心地よさに浸る |
| コア・エレメント | 三角舞台と3次元スリット          |

## ふと歩みを止めてその オーラの心地よさに浸る

完璧なまでに、通りすぎる  
あなたを悦ばせるための  
開放系な花壇と生花の饗宴



饒華のコンセプチュアル・シンボル



|          |                                         |
|----------|-----------------------------------------|
| 完成       | 2002年6月                                 |
| 場所       | 神奈川県湘南地区 概念デザイン研究所東南面外構                 |
| 形状       | レンガ積み扇型外向き堀兼用立体花壇                       |
| 形式       | 三角柱せり出し舞台、逆雁行式スリット、色違いレンガ等による空間演出       |
| コアエレメント☆ | 扇型曲面、三角柱せり出し舞台、逆雁行式スリット                 |
| 堀用レンガ    | レンガブロック 15段16列+6段2列の3角柱部 ベージュ色地にパープル色の柄 |
| 敷きレンガ    | オーストラリアレンガ レッド                          |
| 植栽       | 生花植木鉢入替式（育成・手入れ後に飾り付け）                  |
| その他      | 門扉、住居エクステリア、庭植栽とのコーディネート                |

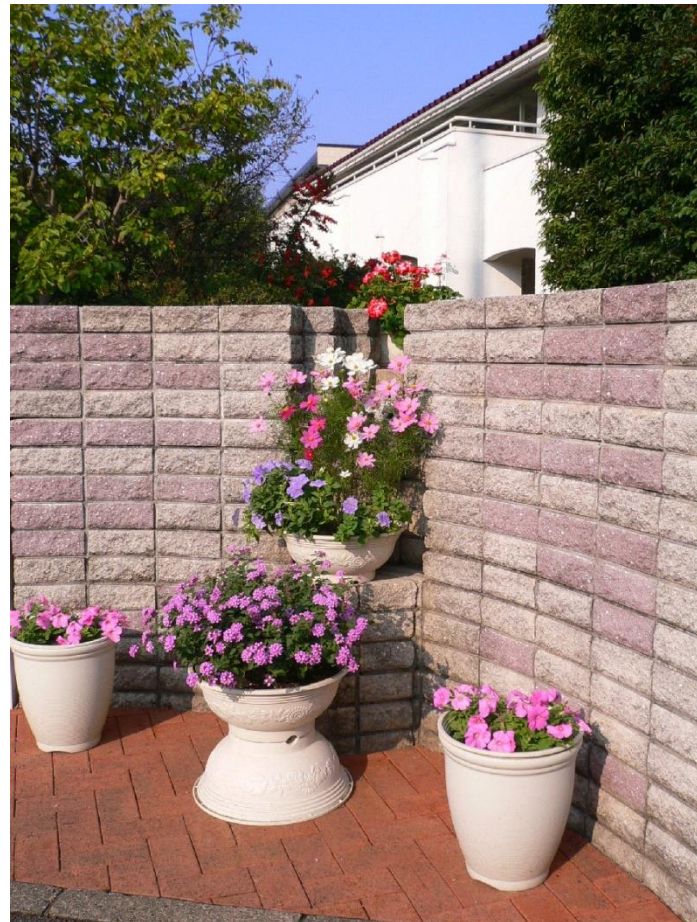
☆…最も審美的に重要な曲面出しと、スリット間隙については現場で直接指示。











扇型曲面



逆雁行式スリット



三角形状のせり出し舞台；メイン生花用







ゲート正面のピラミッド生花台



育成後展示した生花



上；門塀全体イメージ、下；門からの眺め

